

教科名	家庭	単位数	2 単位	担当者 宮田俊江 中積絢子					
科目名	家庭基礎	年次	1 年次						
使用教科書 副教材等	教科書「家基 705 家庭基礎 気づく力 築く未来」（実教出版） 副教材「家基 705 家庭基礎 気づく力 築く未来 準拠学習ノート」（実教出版）、 「LIFE おとなガイドデジタル+」（教育図書）、「あなたの思いを行動に マナードリル」（教育図書）、 「18歳になったら、どうなるの？ 新おとなドリル」（教育図書）								
1 学習の到達目標（育成すべき資質・能力）									
<ul style="list-style-type: none"> ・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を身につける。 ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。 ・さまざまな人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。 									
2 学習の評価（評価規準と評価方法）									
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力,判断力,表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度						
観点の趣旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。						
主たる評価方法	定期考查 ワークシート・課題 被服実習・調理実習	授業中の取り組み状況 定期考查 ワークシート・課題・研究発表 被服実習・調理実習	授業中の取り組み状況 実習への取り組み状況 ポートフォリオ 課題提出状況						
占める割合	約 35 %	約 35 %	約 30 %						
3 学習の目標と振り返り									
	《目標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～	《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～							
前期		【達成できた・一部達成できた・達成できなかつた】							
後期		【達成できた・一部達成できた・達成できなかつた】							

4 学習の内容

学期	学習内容 (単元)	主な評価の 観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
前期	第1章 これから的人生について考えてみよう	○	○	○	(a) 人の一生について様々な生き方があることを理解し、生涯発達の視点で青年期の課題と家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。 (b) 生涯を見通して自己の生活について主体的に考え、男女が協力して家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (c) 様々な人々と協働し、生活設計や青年期の自立と家族・家庭について、課題の解決に主体的に取り組み、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	授業態度 ワークシート・ 学習ノート 課題提出 研究発表 定期考査
	第2章 自分らしい生き方と家族	○	○	○	(a) ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解し、健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理ができ、被服材料、被服構成及び被服衛生について理解し、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 (b) 被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて課題を解決する力を身に付けている。 (c) 様々な人々と協働し、衣生活について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	授業態度 ワークシート・ 学習ノート 課題提出 被服実習作品 研究発表 定期考査
	第7章 衣生活をつくる	○	○	○	(a) 家計管理について理解し、消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう現状と課題、意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解している。持続可能な消費について理解している。 (b) 生涯を見通した経済の管理や計画の重要性、自立した消費者としての責任ある消費、持続可能な社会を目指して主体的に行動について問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を身に付けている。 (c) 様々な人々と協働し、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	授業態度 ワークシート・ 学習ノート 課題提出 研究発表 定期考査
後期	第9章 消費行動を考える	○	○	○	(a) 家計管理について理解し、消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう現状と課題、意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解している。持続可能な消費について理解している。 (b) 生涯を見通した経済の管理や計画の重要性、自立した消費者としての責任ある消費、持続可能な社会を目指して主体的に行動について問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を身に付けている。 (c) 様々な人々と協働し、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	授業態度 ワークシート・ 学習ノート 課題提出 研究発表 定期考査
	第10章 経済的に自立する	○	○	○	(a) 家計管理について理解し、消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう現状と課題、意思決定や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解している。持続可能な消費について理解している。 (b) 生涯を見通した経済の管理や計画の重要性、自立した消費者としての責任ある消費、持続可能な社会を目指して主体的に行動について問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を身に付けている。 (c) 様々な人々と協働し、課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	授業態度 ワークシート・ 学習ノート 課題提出 研究発表 定期考査

学期	学習内容 (単元)	主な評価の 観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
後期	第3章 子どもとかかわる	○	○	○	<p>(a) 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子供を取り巻く社会環境、子育て支援について理解しているとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。</p> <p>(b) 子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>(c) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供の生活と保育について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	授業態度 ワークシート・ 学習ノート 課題提出 研究発表 定期考査
	第6章 食生活をつくる	○	○	○	<p>(a) 食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付け、食品の調理上の性質、食品衛生について理解し、調理に必要な技能を身に付けている。</p> <p>(b) 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決する力を身に付けている。</p> <p>(c) 様々な人々と協働し、食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返り改善して、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	授業態度 ワークシート・ 学習ノート 課題提出 研究発表 定期考査
	第4章 高齢者とかかわる	○	○	○	<p>(a) 高齢期の心身の特徴、取り巻く社会環境、尊厳と自立生活の支援や介護について理解し、生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。</p> <p>(b) 高齢者の自立生活を支える家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>(c) 様々な人々と協働し、高齢期の生活と福祉について、課題の解決に主体的に取り組み、振り返り改善して、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。</p>	授業態度 ワークシート・ 学習ノート 課題提出 研究発表 定期考査